

関係、各位殿

## 安保法制違憲訴訟やまなし国家賠償訴訟提訴のお知らせ

安保法制違憲訴訟やまなし（略称：あんぼなし）は昨年（2016年）の11月29日に設立総会を開いて立ち上がり、以来活動してきましたが、奇しくも同じ29日（2017年）にようやく提訴に漕ぎつける事ができました。9カ月を要したことになります。当初というか、最近まで中々代理人（弁護士）の引き受けてがなく一時は本人訴訟で、などと考えた時期もありました。代理人を引き受けて下さった加藤啓二弁護士には心から感謝を申し上げたいと思います。弁護団は下記の12名の先生方です。

### ◎原告から訴訟代理人弁護士

- ・加藤啓二
- ・寺井一弘
- ・伊藤真
- ・関本立美
- ・長倉智弘
- ・小笠原忠彦
- ・小野正毅
- ・長田清明
- ・山際誠
- ・雨松拓真
- ・加藤英輔
- ・中野宏典

### ◎国家賠償法1条1項に基づく国家賠償請求事件

### ◎訴訟物の価額金180万円（1万円X180名）

### ◎貼用印紙代金1万4000円

今後の日程としては、あくまで見通しですが、2～3か月後に第1回口頭弁論が行われる予定です。安保法制は明らかに憲法に違反しています。こうしている間も、憲法違反状態は続いています。憲法は主権者の側から権力者の暴走を食い止める為にある法です。それを遵守する義務がある行政のTOPが違反している現状をマスコミはもちろん主権者である国民が何も言わないという異常な状態が続いています。立憲主義国である日本という国が立憲主義という重要な側面で破綻しているに等しい有様です。日本の裁判システムでは敗訴がほぼ間違いなく、勝訴の可能性はほぼないと言われても黙っている訳にはいかない。そうした止むに止まれぬ思いの180名が立ち上がった全国で24番目の訴訟が山梨で起こされた意義は決して小さくないと思います。未来を生きる子供や孫たちに平和な日本を手渡したい。勝てる見込みはない裁判です、しかしそんなことを口にする原告は1人もいません。誰も殺さない。誰も殺させない。これは人として、当然の闘いなのです。皆様からの応援を心からお願い致します。

安保法制違憲訴訟やまなし（略称：あんぼなし）  
事務局長・原告団々長 金野奉晴